

協働事業に関する提案書

令和3年4月8日

(宛先)狭山市長

団体名 Sayama Second Stage

所在地

代表者名 南部 健一郎

次のとおり、協働事業に関して提案します。

| | |
|-------------------------------|---|
| 1 提案する協働事業 | 市民提案型協働事業 |
| 2 事業名 | 道にお絵かき！？大っきなところに描いてみよう♪ ～コロナなんかには負けないぞ！～ |
| 3 事業期間 | 令和3年4月16日から令和4年2月28日 |
| 4 事業種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 |
| 5 事業予算 | 113,000 円(内補助金額110,000円) |
| 6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください | 新型コロナウイルス感染症の影響による先の見えない閉塞感を解消するとともに、市民の「コロナに負けない！」という意識の醸成を図るため、ダストレスチョークを用いた親子参加型の絵描きイベントを開催する。収束がみられない状況下の対応として、規模の縮小、お絵かき方法、展示方法等を検討していきます。 |
| 7 添付書類 | <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書（様式第3号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール（様式第4号） <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書（様式第5号） |



協働事業に関する企画書

団体名 Sayama Second Stage

| | |
|---------------|---|
| 1 事業名 | 道にお絵かき！？ 大っきなところに描いてみよう♪ ～コロナなんかに負けないぞ！～ |
| 2 事業の詳細 | <p>市内在住の親子を対象に募集を行い、駅前市民広場をキャンパスとして、絵描きイベントを開催する。 絵を描く際には、体にやさしく消すことが容易なダストレスチョークを利用する。 また、絵のコンセプトは、通りかかった市民のコロナによる不安や閉塞感を解消するような絵とする。</p> <p>【イベント概要】 開催時期：令和3年9月 受付場所：狭山市駅西口市民広場 対象：3歳から小学校6年生までの子どもとその保護者 募集組数：第1部、第2部ともに15組まで</p> |
| 3 実施体制 | Sayama Second Stageスタッフ5名 有償ボランティアスタッフ6名 狭山市協働自治推進課 |
| 4 役割分担 | <p>【提案団体の役割】 イベントの企画 広報(チラシ・ポスター作製、SNS発信など) イベント当日の進行(受付・誘導等) 物品の準備 報告書の作成</p> <p>【市の役割】 イベントの企画立案における助言 広報(市公式ホームページ、チラシ・ポスター設置など) 関係機関との調整 会場の確保</p> |
| 5 協働の効果 | <p>多方面にわたる分野(子育て・福祉・教育・まちづくり等)で活動するメンバーと市が協働で事業を実施することで、幅広い視点からイベントを企画することができる。 また、会場の確保や広域的なイベント周知が可能となる。</p> |
| 6 事業のアピールポイント | <p>外出自粛により家にこもりがちな親子の閉塞感を解消するとともに、狭山市駅西口駅前広場が彩られることで、狭山市全体を活気づけることができると考えます。また、イベントを開催するにあたり、他の団体との協力やイベント等の同時開催を図ることで、多方面にわたる分野の協働を推進します。コロナウイルスの収束が見られない状況下においても対応ができるよう、規模の縮小や紙に描いた絵を窓際に展示等、実す。</p> |